

CONTENTS
はじめる
Excel
2002
Office
xp対応

はじめるExcel2002 Office xp対応
別冊付録
鈴木光勇・SE編集部編著
2001年8月7日
©2001 KOYU SUZUKI &
SHOEISHA.Co.,Ltd.
Printed In Japan

SPECIAL APPENDIX
はじめるシリーズ
特別付録

**エクセル2002
基本用語集**

基本用語 (記号／英字) ……	2
基本用語 (あ) ……	3
基本用語 (か) ……	6
基本用語 (さ) ……	9
基本用語 (た) ……	12
基本用語 (な) ……	14
基本用語 (は) ……	14
基本用語 (ま) ……	17
基本用語 (や) ……	18
基本用語 (ら) ……	18
基本用語 (わ) ……	19

**エクセル2002
主要関数一覧**

日付と時刻の関数 ……	20
情報関数・論理関数 ……	21
財務関数 ……	22
検索／行列関数 ……	24
データベース関数 ……	25
文字列関数 ……	26
統計関数 ……	28

**ショートカットキー
一覧 ……**

エクセル2002 基本用語集

記号・英字

ダブルクォーテーション

二重引用符は、エクセルでは式や書式内で文字そのものを表示するために使用します。

#####

セルの幅が狭すぎて表示できないというエラー表示です。列の幅を広げるとエラーを解決できます。

\$ (ドル)

絶対参照するセル番地に付ける記号です。

@ (アットマーク)

エクセルでは、書式内で文字列を表示するマークとして利用されています。

「0」表示の解除

セルに表示される「0」は非表示にできません。「ツール」メニューの「オプション」を選び、「表示」タブから「ゼロ値」のチェックをオフにします。

CD ROM (シーディーROM)

ソフトの配布用として多く流通しているメディア。容量は約650MBでフロッピーディスク450枚分に相当します。

CD-ROMドライブ

CD-ROMと呼ばれる、記録メディアを読み取る装置です。ほとんどのパソコンに搭載されており、音楽CDも再生できます。CD-Rシーディーアールという書き込み可能なものや、DVD-ROMディーブイディーエムドライブが内蔵されている場合もあります。

CPU (シーピーユー)

Central Processing Unitの略です。処理を一括して行う装置。CPUはパソコンの心臓とも言われ、パソコンの処理スピードを大きく左右します。計算能力を周波数によって表しています。周波数が高いほど性能が高くなります。

CSV (シーエスブイ)

Comma Separated Values

略です。カンマで区切られたテキストデータです。異なるアプリケーション同士でデータをやり取りする際によく利用されます。

DVD (ディーブイディー)

フロッピーディスク約6000枚に相当する大容量で、ハイクオリティな映画でもCDと同じサイズのディスクに収録することができます。レコードがCDになったように、ビデオが変わるメディアとして今後広まっていきそうです。

GB (ギガバイト)

ハードディスクなどのデータの量を表す単位。1GBは約10億バイト(1024MB)。日本語の文字だけを保存するとしたら約5億字を記録

できます。

HTML（エイチティーエムエル）

Hyper Text Markup Languageの略です。インターネットのホームページを作るときに使用する言語です。

IEEE 1394
FireWire

大容量データの転送用に開発された、周辺機器を接続するための新しい規格。毎秒400メガビットのデータを転送することができ、デジタルビデオカメラと接続すれば、パソコンにビデオ映像を簡単に取り込むことができます。ソニーのバイオシリーズでは「i・LINK」という名称で呼ばれています。

KB（キロバイト）

データの量を表す単位。ファイルの大きさ、フロッピーディスクの記憶容量などを表す時に使います。1KBは1024バイトです。

MO（エムオー）

光磁気ディスクといって記憶装置の一種です。消去や再書き込みができ、パソコンにも接続できます。情報を読み書きする装置はMOドライブといえます。

MS IME 2002
五五式 アイエムイー

ウィンドウズに標準付属の日本語入力システムです。読みのわからない漢字などを探すときに使用するIMEパッドなど、便利な入力機能が用意されています。

OS（オーエス）

Operating Systemの略です。基本ソフト。パソコンを動かすために必要な最も基本的なプログラム。ウィンドウズMeもOSのひとつです。

RAM（ラム）

Random Access Memoryの略です。パソコンデータの処理のための一時的な記憶領域です。このRAMの容量が大きいかほど処理能力が高くなります。

USB（ユーエスビー）

Universal Serial Busの略です。周辺機器を接続するための新しい規格。機器の電源を入れたままケーブルを自由に抜き差しすることができます。

ZIP（ジップ）

米国のアイオメガ社が開発した記録メディアです。フロッピーディスクよりもやや厚めのメディアに最大で250MBのデータを保存できます。データの保存や読み出しには専用のドライブが必要です。

あ

アイコン

操作のために用意された絵文字。ウィンドウズの画面の中にある要素は、すべて「アイコン」と呼ばれる小さな絵として表示されています。アイコンの絵はその機能を表し、下にはそのファイル名が付いています。

エクセル2002 主要関数一覧

日付と時刻の関数

日付と時刻の関数とは

エクセルにはとても多くの関数が用意されていますが、日付と時刻の関数は最も利用されているものの1つでしょう。

本書でも今日の日付を表示するTODAY関数や今の時刻を表示するNOW関数を学習しました（レベルアップ②参照）。

シリアル値とは

日付と時刻の関数では「シリアル値」という言葉がよく出てきます。これは、エクセルによる日付や時刻の数値データのこ

とです。たとえば2001年7月10日は「37082」です。

また、9時9分4秒は「0.3

813」になります。このよう

にエクセルでは1900年1月

1日～9999年12月31日まで

を1～2958465の数値

で、0時0分0秒から翌日の0

時0分0秒までを0.0から1.

0で管理しているわけです。

試しに、「37082」とセ

ルに入力して、書式設定で「日

付」を設定してみましょう。ち

ゃんと「2001年7月10日」

と表示されます。同様に「0.

3813」も時刻にできます。

主な日付関数

DATE(年,月,日)

指定された日付に対応するシリアル値を返します。

DATEVALUE(日付文字列)

日付を表す文字列をシリアル値に変換します。

DAY(シリアル値)

シリアル値を日付に変換します。

DAYS360(開始日,終了日,方式)

1年を360日(30日×12)として、支払いの計算などに使用される2つの日付の間の日数を返します。

HOUR(シリアル値)

シリアル値を時刻に変換します。

MINUTE(シリアル値)

シリアル値を時刻の分に変換します。

MONTH(シリアル値)

シリアル値を月に変換します。

NOW()

現在の日付と時刻に対応するシリアル値を返します。

SECOND(シリアル値)

シリアル値を時刻の秒に変換します。

TIME(時,分,秒)

指定した時刻に対応するシリアル値を返します。

TIMEVALUE(時刻文字列)

時刻を表す文字列をシリアル値に変換します。

TODAY()

現在の日付に対応するシリアル値を返します。

WEEKDAY(シリアル値,種類)

シリアル値を曜日に変換します。

YEAR(シリアル値)

シリアル値を年に変換します。

論理関数は条件がTRUEかFALSEか判断したり、複数の条件を検査するときによく使われます。論理関数で最もよく使われているのはIF関数で、本書でも取り上げています(レベルアップ②参照)。IF関数は条件を満たしているときにTRUE(真)、満たしていないときにFALSE(偽)を返し、それに応じて後の処理を分岐することができます。たとえば、一定条件よりも成績の悪い学生に「追試験」などの表示をすることがができます。

情報関数はセルの情報を取得するための関数です。たとえばISBLANK関数は指定したセルが空白かどうかをチェックします。情報関数はIF関数と組み合わせるとよく使われます。

主な論理関数

AND(論理式1,論理式2,...)

すべての引数がTRUEのときにTRUEを返します。

FALSE()

常に論理値FALSEを返します。

IF(論理式,真の場合,偽の場合)

値または数式が条件を満たしているかどうかを判定します。

NOT(論理式)

引数の論理値(TRUEまたはFALSE)を逆に返します。

OR(論理式1,論理式2,...)

いずれかの引数がTRUEのときにTRUEを返します。

TRUE()

常に論理値TRUEを返します。

主な情報関数

CELL(検査の種類,対象範囲)

セルの書式、位置、内容についての情報を返します。

COUNTBLANK(範囲)

指定範囲に含まれる空白セルの個数を返します。

ERROR.TYPE(エラー値)

エラーの種類に対応する数値を返します。

INFO(検査の種類)

現在の操作環境についての情報を返します。

ISBLANK(テストの参照)

対象が空白セルを参照するときにTRUEを返します。

ISERR(テストの対象)

対象が#N/A以外のエラー値のときにTRUEを返します。

ISERROR(テストの対象)

対象が任意のエラー値のときにTRUEを返します。

ISEVEN(テストの対象)

数値が偶数のときにTRUEを返します。

ISLOGICAL(テストの対象)

対象が論理値のときにTRUEを返します。

ISNA(テストの対象)

対象がエラー値#N/AのときにTRUEを返します。

ISNONTEXT(テストの対象)

対象が文字列以外のときにTRUEを返します。

ISNUMBER(テストの対象)

対象が数値のときにTRUEを返します。

ISREF(テストの対象)

対象がセル参照のときにTRUEを返します。

ISTEXT(テストの対象)

対象が文字列のときにTRUEを返します。

ショートカットキー一覧

データの編集関連

キー	動作
F2	セル内を編集可能な状態に変更
Alt+;	選択範囲で非表示でないセルを選択
BackSpace	アクティブなセルの内容を消去するか、または内容を編集しているアクティブセルで前の文字を削除
Ctrl+-	選択範囲のセルを削除
Ctrl+.	選択範囲内の四隅を右回りで移動
Ctrl+/	アクティブセルを含む配列全体を選択
Ctrl+[選択範囲の式が直接参照するセルを選択
Ctrl+]	選択範囲のセルを直接参照する数式が入力されたセルを選択
Ctrl+¥	セルの選択範囲内でアクティブセルと異なる内容のセルを同じ行から選択
Ctrl+6	オブジェクトの表示、非表示、および位置のみの表示を切り替える
Ctrl+7	[標準] ツールバーの表示 / 非表示の切替
Ctrl+A	数式に関数名が入力されている場合、数式パレットを表示
Ctrl+A	ワークシート全体を選択
Ctrl+Alt+	複数の選択範囲間を右方向に移動
Ctrl+Alt+	複数の選択範囲間を左方向に移動
Ctrl+C	選択範囲をコピー
Ctrl+F	[検索] ダイアログボックスを表示
Ctrl+Shift+*	アクティブセル領域 (アクティブセルを含み、空白の行と列で囲まれているデータ領域) を選択
Ctrl+Shift+{	選択範囲の数式が直接または間接的に参照するすべてのセルを選択
Ctrl+Shift+!	セルの選択範囲内でアクティブセルと異なる内容のセルを同じ列から選択
Ctrl+Shift+}	選択範囲のセルを直接または間接的に参照する数式が入力されたすべてのセルを選択
Ctrl+Shift++	空白セルを挿入
Ctrl+Shift+A	数式に関数名が入力されている場合、その関数の引数名を () で囲んで挿入
Ctrl+Shift+End	選択範囲をデータが入力されている範囲の右下隅のセルまで拡張
Ctrl+Shift+Enter	数式を配列数式として入力
Ctrl+Shift+Home	選択範囲をワークシートの先頭のセルまで拡張
Ctrl+Shift+O	コメントがあるすべてのセルを選択
Ctrl+Shift+Space	シートにあるオブジェクトすべてを選択
Ctrl+Shift+矢印キー	データが入力されている範囲の先頭行、末尾行、左端列、または右端列まで選択範囲を拡張
Ctrl+Space	選択範囲を列全体に拡張
Ctrl+V	貼り付け
Ctrl+X	選択範囲を切り取る
Ctrl+Z	直前の操作の実行結果を元に戻す
Del	選択範囲の数式と値をクリア
Enter	セルの入力を確定
Enter	選択範囲内で下方向に移動
Esc	セルまたは数式バーの入力を取り消す
F3	定義した名前を数式に貼り付ける
F7	[スペルチェック] を表示
F8	選択範囲を矢印キーで拡張または解除
Shift+BackSpace	選択を解除しアクティブセルだけを選択
Shift+Enter	選択範囲内で上方向に移動
Shift+F4	前回の [検索] コマンドを繰り返す ([次を検索] と同様)
Shift+F5	[検索] ダイアログボックスを表示
Shift+F8	選択範囲を追加する範囲の先頭セルに矢印キーで移動してF8キーを押し、矢印キーで範囲を拡張
Shift+Home	選択範囲を行の先頭まで拡張
Shift+PageDown	選択範囲を1画面下まで拡張
Shift+PageUp	選択範囲を1画面上まで拡張
Shift+Space	選択範囲を行全体に拡張
Shift+Tab	選択範囲内で左方向に移動
Shift+矢印キー	選択範囲を上、下、左、または右に拡張
Tab	選択範囲内で右方向に移動